

山梨中央銀行グループ「パーパス（存在意義）」の制定について

株式会社山梨中央銀行（頭取 関 光良）は、中期経営計画「TRANS³2025」のスタートに合わせ、パーパス^{※1}「山梨から豊かな未来をきりひろく」を制定いたしました。

また、当行ホームページおよび当行 YouTube チャンネルにてパーパスの紹介動画を公開いたしましたのでお知らせいたします。

今後、ステークホルダーの皆さまにこのパーパスに共感いただけるよう鋭意努力するとともに、当行グループ全役職員の想いを一つにするための軸や道標として、パーパスをグループ内に浸透させてまいります。

なお、パーパスの紹介動画は、山梨への想いを同じくする学生団体「トップファン」^{※2}と協働して制作いたしました。

以 上

公開動画はこちらからもご覧ください→

(YouTube の動画公開リンク)



- ※1 企業が何のために存在しているのかといった社会的な「存在意義」として使われています。足もとでは、自社のパーパスを明確にして経営の基軸とする企業が増えています。
- ※2 山梨県立韮崎高等学校の卒業生を中心に立ち上げ、山梨県内外の大学に通う学生で構成する2拠点学生団体。地域（山梨）の活性化に向けた活動を中心に行っている。団体名の由来は、「(山梨の) 一番のファン」。